

うおーみんぐ

NO.18 秋

京都府地球温暖化防止
活動推進センター通信

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。

実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！



生物調査

「カエデの紅葉時期」調査に
ぜひご協力を！

身近で調べる温暖化の影響
プロジェクトを開始します。
詳しくは最終面をご覧ください。

(写真)

右上：推進員研修会（北部）でのワークショップの写真

右下：フェスタ飛天でのブース出展の写真

左上・左下：紅葉の写真

第2回推進員研修会 フード・マイレージ 食が地球を変える！ あなたの レポート

京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions

どこまで進んでる？「自治体の計画・ビジョンづくり」

決勝出場団体決定！

きょうと ECO-1 グランプリ 2008

活動レポート

始まります。身近で調べる温暖化の影響調べ
「カエデの紅葉を楽しみながら調べよう。」

京都 CO2 削減バンクからお知らせ

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

特集

第2回推進員研修会
「フード・マイレージ
地球を変える」レポート
あなたの食が8月30日・31日実施
北陸農政局企画調整室長の中田哲也氏を講師に迎えて

Q.1

フード・マイレージって何？

食料の輸送量と輸送距離を総合的・定量的に把握することを目的とした指標です。

そして、その運搬方法から排出される二酸化炭素の量を計測します。特色は、量と輸送距離の両方をみること。自給率だけで見ると、近いところから輸入しているものも遠いところからきているものも区別が付きません。輸送距離の違いでどのくらい環境負荷がかかっているのか知るためにはフード・マイレージが必要です。計算方法は、食

料の重量に輸送距離をかけ合わせて累積します。単位はトン・キロメートル（t・km）で表記されます。そして計算したフード・マイレージに輸送手段ごとのCO₂排出係数（トラックなら180g/t・km）をかけると、その食料の輸送に伴うCO₂排出量が算出できます。また、食料の量の把握には貿易統計を使っています。また、今回の試算では、直接私たちの口に入らない飼料用穀物や油類の原料（大豆など）も計算に入れています。

Q.2

日本はフード・マイレージ No.1 って本当？

日本を含め6カ国のデータを使い、それぞれの国の輸入食料のフード・マイレージを計算してみました。すると図1のとおりに、日本が他国と比べて極端にフード・マイレージが大きいことが分かりました。計算の結果、日本の食料輸

送に伴い排出される二酸化炭素は約900億万t・kmとなりました。同じような前提で計算した諸外国と比較すると、韓国やアメリカ、イギリスなどと比較して日本は突出しています。日本のフード・マイレージは、韓国・アメリカの約3倍、イギリス・ドイツの約5倍、フランスの約9倍となりました。また、畜産物と油の生産のため

のとうもろこしや大豆の割合が非常に多いのが特徴です。

次に、人口を考慮に入れて一人当たりのフード・マイレージを計算したのが図2です。日本人の一人当たり年間約7,000 t・km。一人当たりの数値になると韓国は日本に近い数字になりますが、それでも日本が大きいです。アメリカ・イギリス・フランス・ドイツなどに比べるとはるかに大きいことが分かります。

なぜ日本はこんなに大きくなるのか。輸入量と輸送距離に分けて分析してみたら、輸入量そのものはアメリカ等と比べてそれほど多いわけではないことが分かります。では、なぜ日本は大きいかというと、平均輸送距離が非常に長いということが読み取れます。他国に比べて輸送距離が長いことが二酸化炭素をより多く排出し、温暖化につながっていると言えます。

輸入食料の輸送に伴い排出される二酸化炭素は、年間1人当たり130kgと試算されます。同じ量の二酸化炭素排出量を減らそうとすると、「冷房温度1度下げる」12年分、「冷房時間を1時間節約でまかなう」19年分に匹敵します。つまり、食料自給率の向上や地産地消は温暖化防止にもつながると考えられます。

図1 輸入食料に係るフード・マイレージの比較（品目別）

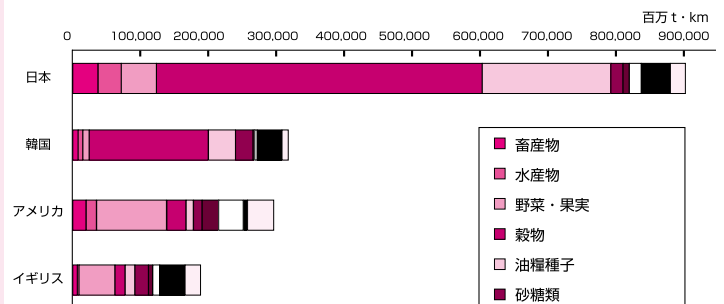
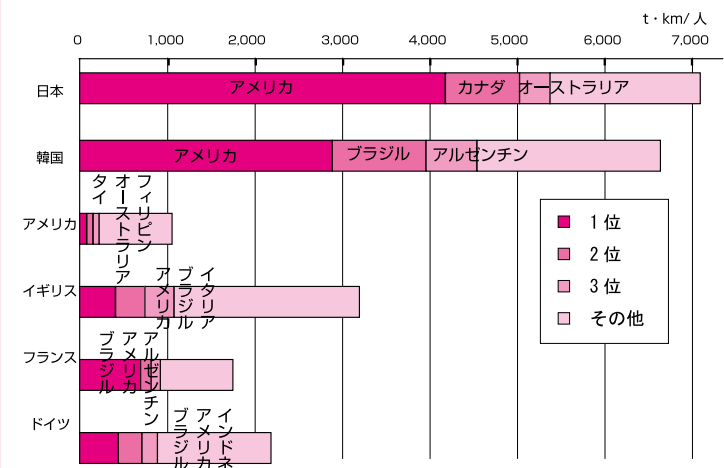


図2 1人当たりフード・マイレージ比較（輸入相手国別）



今年7月に開催された北海道洞爺湖サミットでは、地球温暖化防止に向けての協議とあわせて資源や食料問題が取り上げられ、世界的な共通課題として認識されました。化石燃料価格の高騰などからバイオ燃料への利用拡大等が穀物市場に変革を起こしつつあります。また、日本は今や食料自給率40%、逆に言えば輸入依存率が60%という状況です。「食と地球温暖化」という視点での議論の中で、食品の輸送距離に着眼点を絞って温暖化問題について考える「フード・マイレージ」の議論も進んできています。

今回講演していただいた中田氏の試算では、世界6カ国の中で、日本がフード・マイレージの大きさ No.1（つまり二酸化炭素排出量が No.1）という結果が出ています。

日本のフード・マイレージはなぜ No.1 なのか？ どのようにすれば、「フード・マイレージ」が短くなり二酸化炭素排出を減らすことができるのか？ そんな疑問について中田氏の講演内容をもとにまとめてみました。



北陸農政局企画調整室長
中田哲也氏

Q.3 フード・マイレージを減らし、二酸化炭素排出削減するための鍵は、私たちが日本型食生活を進めること。それはなぜ？

日本が他国に比べてフード・マイレージが大きい原因はどこにあるのでしょうか？そのひとつとして、私たち日本人の食生活が戦後大きく変化したことがあげられます。ではどのような変化が起ったのでしょうか？食料の供給熱量

の構成割合を昭和40年度と現在（平成18年度）の変化を比較すると、昭和40年度にはカロリーの半分は米から摂取していました。それが、平成18年度には、4分の1に、つまり昭和40年度の半分になってしまいました。その代わり、畜産物や油脂の割合が増加しました。つまり、私たちの食生活が欧米化したと言ってよいでしょう。栄養バランスを見るPFC比率（注1）の推移（図3）を比較しても同じ傾向が見られます。昭和40年くらいは米に頼っていたので炭水化物を取りすぎ、脂質は足りませんでした。畜産物の消費が増えて、昭和55年度頃にはきれいな正三角形を描いており、栄養バランスが良くなりました。日本型食生活といわれるのがこれで、欧米でもバランスの良い日本食がブームにもなっています。しかし、日本人の食生活は欧米化への移行が止まらず、平成18年度には、米の消費が減って脂質が増えてバランスがくずれてしまっています（これがメタボリック症候群にもつながっています）。栄養バランスの崩れが私たちの健康にも影響してきており、また食料の輸入量が増え、自給率が低下し、フード・マイレージも増えているといえます。

つまり、地球温暖化は、実は、日々何を食べるかという日常の

図3 PFC比率の推移

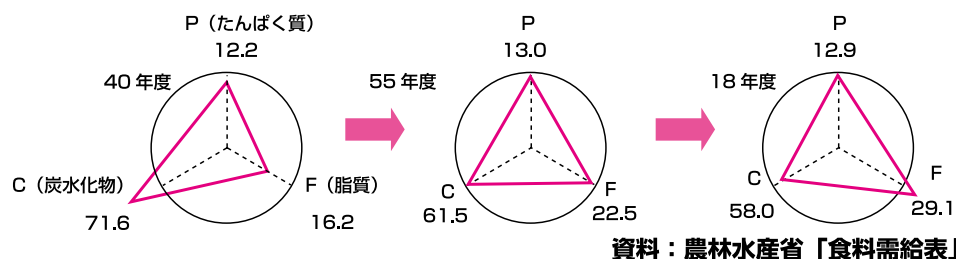
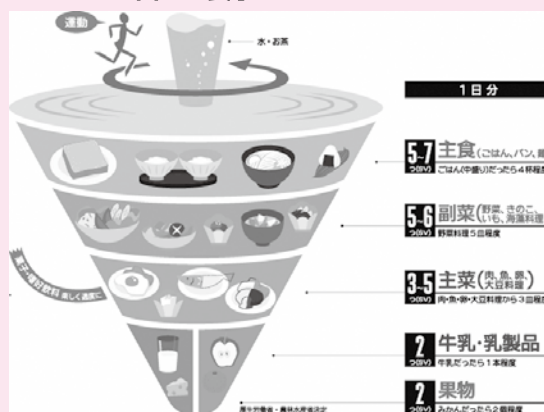


図4 食事バランスガイド



生活とつながっているのです。ですので、PFC比率の理想的な正三角形の日本型食生活に再帰すれば、栄養バランスもとれ、メタボもなくなる？だけではなく、米の消費量が増え、輸入に頼りがちな畜産物や脂質の消費量が減って食料自給率も向上し、結果、日本の一次産業も元気になり、さらには、フード・マイレージも小さくなる（＝二酸化炭素排出量も減る）というわけです。

注1）一般に、供給熱量に占めるたんぱく質（Protein）：脂質（Fat）：糖質（Carbohydrate）の割合を、PFC比率といいます。理想的な正三角形のPFC比率は13%：27%：60%で、「主食のごはんや味噌汁・主菜・副菜を食べる」という日本型食生活であれば、自然にこの比率を摂ることになります。

参考資料：

『フード・マイレージ あなたの食が地球を変える』中田哲也著 日本評論社 2007年
冊子「ピカチュウと一緒に親子で使おう 食事バランスガイド」農林水産省

どこまで進んでる？

「自治体の計画・ビジョンづくり」

温 暖化防止のためには、自分の地域での二酸化炭素排出量や自然エネルギーの導入可能性などを把握し、具体的な対策を考えねばなりません。それを形にしたものが「計画」や「ビジョン」と呼ばれるもの。しかし、「似たような名前の計画があって、違いがわからない」「自分の自治体がどんな計画を持っているのかわからない」という人も多いのではないのでしょうか。

そ こで、それぞれの違いを見ながら、京都府内自治体での策定状況を確認してみましょう。

地球温暖化に関する計画・ビジョンの策定状況

実行計画の(20)は平成20年度策定予定

	実行計画 (※義務)	地域推進 計画	新エネ ビジョン	省エネ ビジョン	地域協議会
京都市	○	○	○	○	京のアジェンダ21 フォーラム
福知山市	(20)	○	○	○	福知山環境会議
舞鶴市	○				
綾部市	(20)		○		綾部市環境市民会議
宇治市	○	○			
宮津市	○	○	○	○	宮津市エコネットワーク
亀岡市	○		○		
城陽市	○				城陽環境パートナーシップ会議
向日市	(20)				
長岡京市	○				長岡京市環境の都づくり会議
八幡市	○	○		○	八幡市環境市民ネット
京田辺市	○				
京丹後市	○				京丹後エコファミリー
南丹市	○		○		
木津川市					
大山崎町	○				
久御山町	○				
井手町	(20)				
宇治田原町	○				エコパートナーシップうじたわら
笠置町	○				
和束町	○				
精華町	(20)				精華町環境ネットワーク会議
南山城村	○				
京丹波町	○				
伊根町	○				
与謝野町	(20)				

自治体の事務・事業に関する計画はこれ！『実行計画』

※実行計画及び地域推進計画は、京都府資料等をもとに作成
※新エネビジョン及び省エネビジョンは、NEDO作成のパンフレットより
※地域協議会は、環境省「地方公共団体における地球温暖化対策の推進に関する法律施行状況調査結果」より

地球温暖化対策推進法では、
「都道府県及び市町村は、京都議定書目標達成計画に即して、当該都道府県及び市町村の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画（以下「地方公共団体実行計画」という。）を策定するものとする。」と定められています。これが、実行計画と呼ばれているものです。計画の対象は、自治体の事務や事業。つまり、庁舎・学校・公用車・ゴミ処理場・浄水場などです。それぞれの施設でのエネルギー消費量を把握し、それをもとにこの計画を立て、毎年見直ししながら取組を進めていくことになり

ます。こう書くと難しく思えるかもしれませんが、「自治体の環境家計簿」だと表現すればイメージしやすいでしょうか。法律の文言の通り、実行計画の策定は自治体の義務です。
9月に環境省から出された調査報告によると、平成19年12月1日現在の全国の基礎自治体での実行計画策定率は47%とのこと。現在の府内自治体での策定率は73%ですので、平均よりは進んでいるといえます。ちなみに、環境省からは、策定のガイドラインや排出量算定ソフトが出されており、手間はかかりますが、コンサルタント会社に頼まなくても策定することができます。



自治体の区域内での対策に関する計画はこれ！『地域推進計画』

実行計画と同じく地球温暖化対策推進法の中で位置づけられているもので、こちらは自治体の区域全体に関する計画です。つまり、自治体自体の事務・事業だけではなく、その自治体に住む住民の生活や地域活動、企業活動なども計画の対象となります。京都府内では、5つの自治体で策定されています。地域推進計画の策定は、実行計画とは違い「義務」ではなく「努力義務」とされていますが、自治体全体としてど

うやって温暖化防止に取り組むかという非常に重要な課題についての計画ですので、とりわけ大きな自治体には策定が求められているといえるでしょう。なお、特に法律に書かれているわけではありませんが、その趣旨から、計画策定は地域の住民や企業の参加のもとに行い、計画の内容や進捗状況についての周知を積極的に行うことが非常に重要だと考えられます。



新エネルギーや省エネルギーに関するビジョンはこれら！

『地域新エネルギービジョン 地域省エネルギービジョン』

地域にどれだけ新エネルギー導入や省エネルギーの実現可能性があるか、それをどう達成するか、多くの市民に検討してどうやって啓発を行うかなどに関するビジョンが、地域新エネルギービジョンや地域省エネルギービジョンです。

ちなみに、現在のところ、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が補助を行っており、採択されれば実質的な財政負担を負うことなく策定することができます。



いろいろな人が集まる活動の場はこれ！『地域協議会』

地域の様々な立場の人が集まり、地域の地球温暖化対策について協議し実践する組織がこの地球温暖化対策地域協議会です。単独ではできないような魅力的・効果的な対策も、パートナーシップによって実現できるのがその魅力。なお、地域協議会も地球温暖化対策推進法の中で位置づけられた組織ですが、堅苦しく捉える必要はまったくありません。

・行政や市民団体、企業など、様々な立場の人が参加している。
・地球温暖化防止を目的に活動している。
・構成メンバーが「これって地域協議会だよ」と合意している。
といった要件で充分です。
環境省に登録できますが、登録は義務ではありません。



重要なのは内容と具体的対策 自分の自治体の計画やビジョンを読んでみよう！

もちろん、計画やビジョンは、策定されればそれでよいというものではありません。さて、お住まいの自治体の計画やビジョンはどんな内容でしょうか、その内容に沿って着実に具体的対策が進められているでしょうか。ぜひ自分が住んでいる自治体の計画やビジョンを見てみましょう。計画やビジョンには、他の自治体にはない独自の情報が盛り込まれています。自分の地域の計画やビジョンを知るこ

とは、地域の温暖化対策を考える上での非常に重要な素材を知ることにもつながります。

計画やビジョンは、策定されれば報告書や啓発パンフレットが作成されますし、多くの場合、Webでも公開されますので、自治体の担当者に問い合わせれば簡単に内容を知ることができます。

なんと13%以上削減した自治体も！！

八幡市は、「環境自治体会議」が開発を進める「LAS-E」を活用した「八幡市環境マネジメントシステム」に基づいて、事務・事業に関わる温暖化対策＝エコオフィスプランを推進しています。特徴は、市内の中学生が参加する内部監査、市民や環境の専門家が参加する外部監査等があることです。取組の結果、事務・事業に関する二酸化炭素排出量は、平成11年度から平成19年度の間に、なんと13・7%減少したとのこと。なお、この期間内には新たに消防庁舎が建てられており、逆ににか大規模な施設が廃止になったり大規模な省エネ改修がおこなわれたりはしていないとのこと。計画を策定するだけでなく、様々な立場からのチェックを行い改善策を考えることで、これほど大きな成果となる。八幡の取組は、非常に良いモデルと言えます。

コラム



決勝出場団体決定！ きょうと ECO-1 グランプリ 2008



- 京都府内のキラリと光る温暖化防止の取り組みが集うコンテスト「きょうと ECO-1 グランプリ 2008」。
- 今年はいずれも魅力的な 25 の取組の応募があり、8 月末に書類による一次選考を行ったところ、その中から決勝大会に進出する 12 取組が決定しました！
- 取組名と団体名は以下のとおりです。

取組名	団体名
京都府所有京都府立嵯峨野高等学校林間伐整備事業	美山町里山ふれあい振興会
廃棄文書類から作るリサイクルトイレットペーパー	京都銀行
1 枚の芝生から Eco が広がる	桂高校「TAFF 地球を守る新技術の開発」班
京都大学におけるレジ袋削減のとりくみ ～無料のままで減らそう！～	京都大学生協同組合
「家族みんなで 1 日エコライフ」の推進	京都生活協同組合
京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト	京のアジェンダ 21 フォーラム
グリーンカーテン設置普及プロジェクト	八幡市環境市民ネット
葵 ECO プロジェクト	葵小学校 PTA
菜の花エコプロジェクト	エコネット丹後
みんなでにこにこエコ活動 (にこエコ活動)	第二向陽小学校
地域にある自然エネルギーを活用しよう (灯油の利用を 100%削減)	雲ヶ畑中学校
免許更新時講習を活用して京都府民とともに 「かしこいクルマの使い方を考える」取組	京都都市圏 CO ₂ 排出削減広報検討会議

グランプリ決定の瞬間を見逃すな！！ 決勝大会 2008.11.15

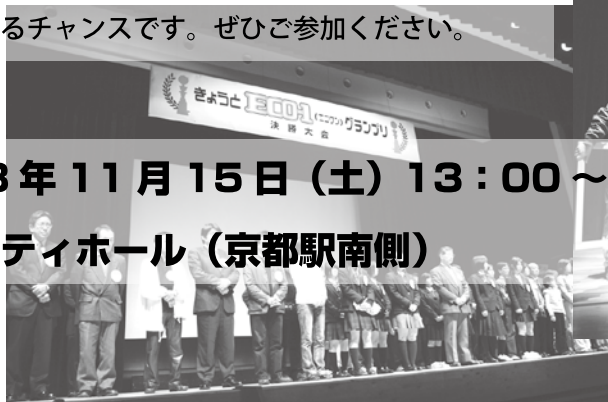
決勝大会のご案内

12 団体が工夫を凝らして取り組み内容を発表し、グランプリ等を選考する決勝大会を、下記の日程・場所で開催します。京都の魅力的な活動の情報を得られるチャンスです。ぜひご参加ください。

入場無料

日程 2008 年 11 月 15 日 (土) 13:00 ~ 16:30

場所 アバンティホール (京都駅南側)



(写真は昨年の決勝大会の様子)

2008.08.03

フェスタ飛天にてブースを出展しました。

8月3日、京丹後市峰山で行われた「フェスタ飛天」で、エコネット丹後、自然エネルギー市民の会、丹後地域在住の推進員の方々とともにブースでの啓発を行いました。ブースでは、バイオディーゼル燃料の実物や啓発パネル、太陽光発電で動くおもちゃ、風車の模型、風車のある風景の写真などを展示しました。また、風力発電に関するアンケートも行いました。アンケートは、170名の方が回答してくださいました。このアンケートからは、「4割もの人が実際に太鼓山の風力発電を見に行ったことがある」、「『風車のある風景は美しい』と回答した人が『景観を損なう』と回答した人の10倍いる」といったことがわかりました。



ブース出展の様子

2008.08.05

ウッドマイレージ総会を行いました。

8月5日、当センターが認証機関を行っている「ウッドマイレージ CO₂ 認証制度」にかかわる事業者の協議会である「京都府産木材認証制度運営協議会」の年次総会および関連行事が開催されました。

本年は「木材の地産地消」を一層PRしていくとともに、京都の木の品質面での信頼性を向上させる取組を行っています。



来賓の山田知事

2008.08.20

プロジェクト別研修（みどりのカーテン）を行いました。

「まだまだあります、みどりのカーテン成功の秘訣」と題して、今年第1回目のプロジェクト別研修会を開催しました。積水ハウスハートフル生活研究所へお伺いし、研究員の田中さんから、みどりのカーテンを毎年作る秘訣について教わった後、実際のみどりのカーテンの涼しさを実感するための実験をしていただきました。この実験では、黒球温度計を用いて、みどりのカーテンの外側と内側での体感温度を測定しました。またサーモカメラを使った測定も実施しました。今後みどりのカーテン普及活動をさらに活性化するにあたっての、とても良い勉強になりました。



簾と霧吹きを使って、「みどりのカーテン」の効果説明の様子

中小企業 CDM 研究会がスタートしました。

京都府内の CO₂ 排出量の約 4 分の 1 を占める中小企業での省エネ設備等導入を通じて創出された炭素クレジットを、法律や京都府条例等で削減目標を課せられている大企業が、京都メカニズムに準ずる形で購入することを通じて、遅れているとされる中小企業の省エネをいっそう促すことを目的とした「中小企業 CDM」についての研究会を、企業や京都工業会・商工会議所、KES 環境機構、自治体などの参加により当センターが事務局となって開始しました。国レベルでも、こうしたクレジット創出のルール作りが進められており、次年度からは具体的な設備導入のモデル事業に踏み込んでいきたいと考えています。

始まります。身近で調べる温暖化の影響調べ

「カエデの紅葉を楽しみながら調べよう。」

「身近で調べる温暖化の影響」プロジェクト・秋の「カエデの紅葉時期」調査が始まります。調査シートに従って、下記の日程に一齐調査をしてください。指定された日程が都合がつかない方も、ぜひそれ以外の日でも構いませんので調査してください。調査方法はいたって簡単。調べたいカエデを1本選び、その紅葉の状況を「まだ紅葉していない」、「紅葉度 50%」、「紅葉度 80%」、「紅葉度 100%」、「落葉度 80%」の5段階で調べてもらいます。あとは観測場所などの必要事項を書くだけです。第1回目の調査日は11月15日。さて、この時期にすでにカエデは赤くなっているでしょうか？ ご自宅付近でも行楽のお出かけ先での調査でもOK。調査に協力して下さる方で調査シートが必要な方は事務局までご連絡いただくか、京都府温暖化防止センターのホームページアドレスから様式をダウンロードしてください。皆様のご参加をお待ちしています。なお、この調査は龍谷大学の増田先生と連携して実施しています。

京都 CO2 削減バンクからお知らせ

省 エネエコ・アクション・ポイントは9月16日
期限を変更し、募集定員に達するまで募集します！

エ コアクション ID の取得が申し込み
後でも OK になりました！

現在参加家庭募集中の「京都エコポイントモデル事業」についてお知らせです。

9月16日までとご案内していた「省エネエコ・アクション・ポイント」の締め切りを変更し、募集定員に達するまで募集することとなりました。ぜひお早めにお申してください。(太陽エネルギー設備に関する締め切りは、予定通り平成21年2月末日までです)。

また、「お申込時まで取得が必要」とご案内していた「エコアクションID」の取得が、申込後でもO.K.になりました。10月中旬からは、携帯電話からだけでなくパソコンからも取得できるようになる予定ですので、まずはID未記入のままお申込みいただき、後ほどパソコンからIDを取得していただいて co2bank@kcfc.or.jp にメールでご連絡いただければ大丈夫です。

まだまだ多くの方に参加いただけますのでぜひよろしくお願いいたします。

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

(平成20年秋号 平成20年10月発行(年4回発行))

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

理事長：郡嶋 孝 運営委員長：浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目283番4

TEL：075-211-8895 FAX：075-211-8896

URL：http://www.kcfc.or.jp E-mail：center@kcfc.or.jp

編集：伊東 真吾 川手 光春 木原 浩貴 西澤 浩美 瀬上 佑樹 吉川 春菜

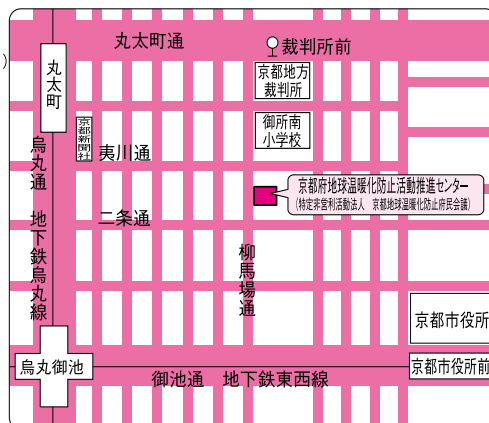
法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！

年会費 正会員(個人)：2,000円 正会員(団体)：3,000円

準会員(個人)：2,000円 準会員(団体)：3,000円

賛助会員：10,000円(会費は平成20年度からの金額)

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙に、大豆インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

